

# 都市別データ:ハイフォン市（ベトナム）

## ①基礎情報

### ■ 人口・面積<sup>1</sup>

人口：205万人（2021年）

労働人口：52.38%

面積：1527km<sup>2</sup>

### ■ 言語・宗教<sup>2</sup>

言語：公用語ベトナム語、他少数民族語

宗教：仏教（約80%）、その他にカトリック、カオダイ教、ホアハオ教等

### ■ 位置、物流

ベトナムを含む6カ国を対象にADBが支援している大メコン圏（GMS：Greater Mekong Subregion）経済協力開発プログラムにおいて、重要道路インフラ網（経済回廊）のうち、ハイフォンは東部経済回廊（Eastern Economic Corridor）の重要拠点となっている<sup>3</sup>（図1）。

ハノイ市、ホーチミン市に次ぐベトナム第三の都市で、15の地区に分かれている。地区は、さらに7つの市区（urban district）と8つの郊外県（rural district）（うち2県はカットバ島を含む島嶼）に分かれている（図2）。

ハノイ市と中国国境に近く、国際河川である紅河（ソンコイ川）河口に位置し、首都ハノイから約120kmの位置にあることから、北部ベトナムの産業と交易の中核都市の役割を担ってきた。



図1. 大メコン圏（GMS）における経済回廊（出典：アジア開発銀行）とハイフォン市の位置（赤矢印）

<sup>1</sup> Vietnam Briefing (2021/7/21) Vietnam's Hai Phong: An Industrial Gateway and Port City. <https://www.vietnam-briefing.com/news/vietnams-hai-phong-industrial-gateway-and-port-city.html/>

<sup>2</sup> JETRO 各国・地域データ比較(検索・比較) : <https://www.jetro.go.jp/world/search/compare.html>

<sup>3</sup> ADB (2015) Greater Mekong Subregion Economic Cooperation Program. <https://www.adb.org/sites/default/files/publication/29387/gms-ecp-overview-2015.pdf>

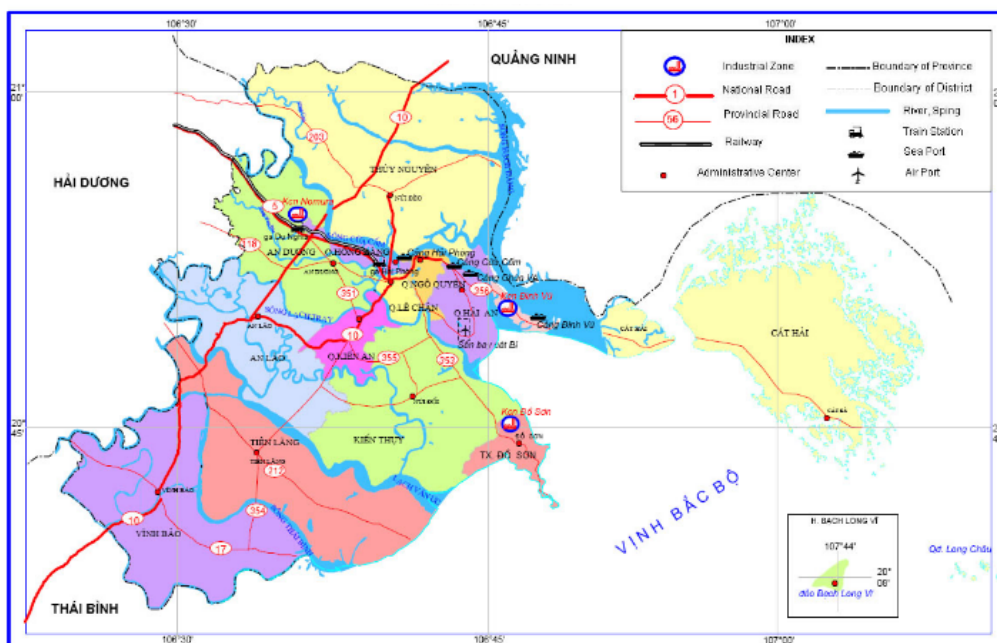


図2. ハイフォン市の行政区  
(出典：https://indochinapost.vn/)

ハノイとハイフォンを結ぶ高速道路（2015年開通）<sup>4</sup>、カットビ国際空港（2016年に国際空港化）、北部ベトナム最大の深水港であるラックフェン国際港（日本ODAにより建設され、2018年に開港）<sup>5</sup>など重要インフラが相次いで整備され、物流拠点として利便性が向上している。

## ■ 産業・経済<sup>1,6</sup>

域内総生産（GRDP）別の産業構造は、工業・建設業（49.73%）、サービス業（39.51%）、農林水産業（4.6%）の順になっている。

新型コロナウイルスの影響で経済成長率は若干落ちてはいるものの、ハイフォン市のGRDP成長率は、2019年に16.26%、2020年は16.88%と増加しており、2016～2020年間の平均でも14.02%に及んでいる。これは、全国平均の2.1倍に当たる。2020年度の1人当たりのGRDPは5,863 USDと、全国平均の3,000 USDを大きく上回っている。

ハイフォン市への海外からの直接投資額（FDI）は、全国で6番目に多く、2020年までに累計202億USDに達している。

## ■ 工業団地

ハイフォン市には、12の工業団地があり、そのうち8つがディンブー・カットハイ経済区に設置され、計570件の投資（403件の海外直接投資（FDI）、167件の現地投資）を獲得している（2021年6月現在）<sup>7</sup>。

<sup>4</sup> JETRO (2016/1/8) ハノイ～ハイフォン間的高速道路が開通。 <https://www.jetro.go.jp/biznews/2016/01/5ce9bccb87c31ac1.html>

<sup>5</sup> 港湾 (2018.7) 大水深コンテナ港湾ベトナム・ラックフェン国際港始動。 [https://www.phaj.or.jp/distribution/lib/world\\_watching/Asia/1807218.pdf](https://www.phaj.or.jp/distribution/lib/world_watching/Asia/1807218.pdf)

<sup>6</sup> Hai Phong City: <https://haiphong.gov.vn/tin-tuc-su-kien/Hai-Phong-no-luc-doi-moi-53744.html>

<sup>7</sup> NamDinhVu (2021/12/29) Hai Phong industrial parks's Development and contribution in Vietnam Economy. <https://namdinhvu.com/en/haiphong-industrial-parkss-development-and-contribution-in-vietnam-economy/>

12ある工業団地のうち、JETROが日本の投資家向けに紹介している工業団地は8つある<sup>8</sup>。また、レンタル工場を提供している工業団地も8つ紹介されている<sup>9</sup>。

## ■ 行政機関<sup>10</sup>

ハイフォン市は、ハノイ市、ホーチミン市、カントー市、ダナン市と並ぶ中央直轄市の一つで、省と同じく中央政府から直接管理されている。

行政機関は、他のベトナムの地方省と同じく、人民委員会（People's Committee）が市の行政を統括しており、10の行政局、18の行政機関（経済特区管理局等）と15の地区別人民委員会に分かれている（図3）。

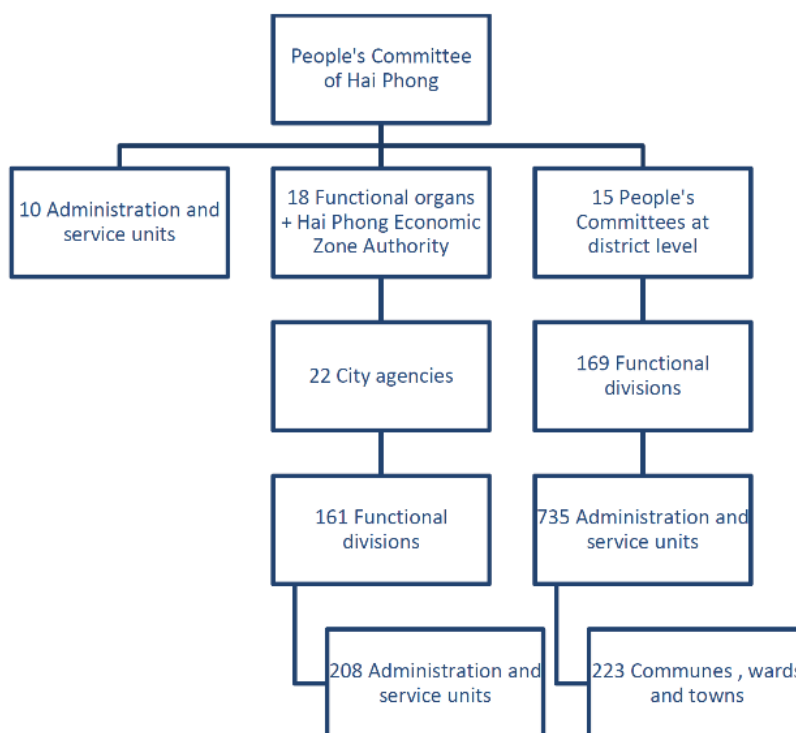


図3. ハイフォン市の行政統治概念図  
(出典：OECD)

## ■ その他関連機関

ベトナム日本商工会議所（JCCI）： JCCIは、ベトナム北部地方に拠点を構える日系企業を会員として構成される経済団体で、ハノイ市に本部があるほか、ハイフォン支部をハイフォン市に設置しており、定例支部会のほか、セミナーや交流会等のイベントを開催している。また、JCCIには産業別に部会が複数設置されており、工業部会はさらに4つの部会（東部、西部、北部とハイフォン部会）に分かれている<sup>11</sup>。

<sup>8</sup> JETRO (2018) ベトナム北部・中部工業団地データ集。

[https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/\\_Reports/02/2018/b3d6faf13592b830/industrialzone\\_data201803.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/02/2018/b3d6faf13592b830/industrialzone_data201803.pdf)

<sup>9</sup> JETRO (2021) ベトナム北部・中部レンタル工場データ集。 [https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/\\_Reports/01/ec79f26de630cb07/20210003\\_02.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/01/ec79f26de630cb07/20210003_02.pdf)

<sup>10</sup> OECD (2016) Green Growth in Hai Phong, Viet Nam. OECD green Growth Studies, OECD Publishing, Paris.

<sup>11</sup> ベトナム日本商工会議所： <https://jcci.vn/>

## ② 環境に関する政策

### ■ 気候変動対策

2014～2020年の国家グリーン成長計画を実施するための行動計画（Decision No. 1463 /QD-UBND、2014/7/3 発布）<sup>12</sup>

- ▶ 国家グリーン成長計画をハイフォン市において推進するための行動計画で、ハイフォン市各局が実施すべき施策が定められている。

ハイフォン市におけるパリ協定に関する実施計画（首相決定 2053/QD-TTg、2016/6/28）の実施（Decision No. 3337/QĐ-UBND、2017/12/6 発布）<sup>13</sup>

- ▶ 国が定めたパリ協定に関する実施計画をハイフォン市において推進するための行動計画で、2017～2020年と2021～2030年に分けて、気候変動に対する緩和策と適応策について実施計画が記されている。
- ▶ 同文書には、国際協力の文脈で、環境省の都市間連携事業を活用して北九州市の協力により「グリーン成長推進計画」が作成されたこと、及び、アジア太平洋統合評価モデル（AIM）を活用して2013年比で2030年までに14%CO<sub>2</sub>を削減する低炭素シナリオが作成されたことが言及されている。

2021～2030年におけるハイフォン市の気候変動対策に関する行動計画、2050年までのビジョン（Decision No. 565/QĐ-UBND、2020/3/5 発布）<sup>14</sup>

- ▶ 国が定めた国家気候変動戦略やパリ協定に基づく「国が決定する貢献」（NDC）のハイフォン市において推進するための行動計画で、38の優先プロジェクトとそれらのための実施予算 27,542,868 billion VND）が特定されている。

### ■ 廃棄物関連政策

2030年までの海洋プラスチック廃棄物管理に関する行動計画（首相決定 No. 1746/QD-TTg、2019/12/4 発布）を受けて、パイロット都市に選定されたハイフォン市は、他都市に先駆けて、2030年までのハイフォン市における海洋プラスチック廃棄物管理に関する行動計画（Action Plan 87/KH-UBND、2020/3/19 発布）を策定した。

<sup>12</sup> Decision No. 1463 /QD-UBND (2014/7/3): <https://thuvienphapluat.vn/van-ban/tai-nguyen-moi-truong/quyet-dinh-1463-qd-ubnd-2014-chien-luoc-quoc-gia-ve-tang-truong-xanh-2014-2020-hai-phong-274599.aspx>

<sup>13</sup> Decision No. 3337/QĐ-UBND (2017/12/6): <https://thuvienphapluat.vn/van-ban/Tai-nguyen-Moi-truong/Quyet-dinh-3337-QD-UBND-2017-Ke-hoach-trien-khai-2053-QD-TTg-bien-doi-khi-hau-Hai-Phong-372761.aspx>

<sup>14</sup> Decision No. 565/QĐ-UBND (2020/3/5): <https://thuvienphapluat.vn/van-ban/Tai-nguyen-Moi-truong/Quyet-dinh-565-QD-UBND-2020-Ke-hoach-ung-pho-voi-bien-doi-khi-hau-Hai-Phong-2021-2030-471685.aspx>

### ③ 政治的な動向

#### ■ 首長・市長の方針

地方政府として環境対策に積極的に取り組んでいるが、首長による目立った言動は見られない。

#### ■ カーボンニュートラル宣言など

ハイフォン市として明示的なカーボンニュートラル宣言は行っていないが、チン首相が COP26 において 2050 年までにカーボンニュートラルを目指す意向を示したことを受けて、それに準拠して取り組んでいく意向を示している。

以上